



大野台公民館主催で、大野台地区青少年部の皆さんの指導の「子どもチャレンジ工作教室」のお手伝いをしました。ヒンメリとペットボトルのキャップの笛をつくりました。

日時：2019年6月15日（土）午前10時から12時まで  
場所：大野台公民館

始めに、木もれびの森、森ってなあに？とお話をしました。



森の中は  
すずしい  
ホコリが舞ってない  
リラックスできる  
気分が落ち着く小鳥が鳴いている  
昆虫が住んでいる  
花が咲いている  
青い草地在きれい家から出たら森がある  
こんな森がいつまでもあるといいなあ！

木もれびの森から取ってきたアズマネザサ（シノダケ）を、8cmの長さに切りそろえました。細い針金を通して、三角形をつかって、ヒンメリを作ります。“ヒンメリ”は、スウェーデン語で「天」という意味です。



次は、ペットボトルのキャップを使って笛を作ります。笛が鳴るかな？吹き口の向きをいろいろ変えてみると、ピ



一となりました。みんなひと安心です。参加した14人の小学生さんたちは、みなさんまた作ってみたいと、十分に満足したようでした。アズマネザサ（シノダケ）は、森ではあまり大事にされていません。でもいろんなものに使われています。ささだんごを包んでいるのはササ。メカイ（目籠）は、笹を使ったかごづくり。ペットボトルのフタも、地球を汚さず、きれいにするために、これから役に立つことがもっと見つかるかもしれません。森とみんなの生活を、気持ちよいものにしていきましょう。強い雨の中、参加してくれた小学生の皆さん、ありがとうございました。

インスタグラムでもレポートしています（相模原こもれびのHp トップページから）。